

# 計画の意義と方法

— 計画は何のために策定し、どのように実施するのか? —

## 目次

---

### 凡例

#### I. 研究報告 A

[1] 地域振興と文化遺産に関するプロジェクトの計画と実践	004
大石 健介 [独立行政法人国際協力機構ナイジェリア事務所]	
[2] 個別計画から総合計画へ	008
池邊このみ [千葉大学大学院園芸学研究科]	
[3] 景観価値の保全と計画	012
小浦 久子 [大阪大学大学院工学研究科]	
[4] 遺跡整備の立案と展開	020
秋山 邦雄 [歴史環境計画研究所]	
[5] 地域資源保全のための計画策定の視点と方法	026
吉田 禎雄 [株式会社ブレック研究所]	
[6] 歴史まちづくりを実現するための「計画」	034
杉本 宏 [宇治市歴史まちづくり推進課]	
[7] 文化的景観をなじませるための計画策定	040
川村 慎也 [四万十市教育委員会生涯学習課]	
■プレゼンテーション画像	044
<b>コラム</b> 教育活動・広域連携・プロモーション—史跡大友氏遺跡（大分県大分市）の取組—	090
五十川雄也 [大分市教育委員会文化財課]	

#### II. 研究報告 B

[a] 遺跡等に係る計画の重要性と今後の方向性	092
宮前 保子 [国際花と緑の博覧会記念協会]	
[b] 計画改訂プロセスにみる「計画」の多様性と本質	098
白崎 恵介 [宮城県教育庁文化財保護課]	
[c] 「金沢の文化的景観 城下町の伝統と文化」の保全・整備のための計画について	104
中谷裕一郎 [金沢市都市政策局歴史建造物整備課]	
[d] 史跡整備における計画の重要性～計画策定の視点と意義～	108
入佐友一郎 [福岡県教育庁文化財保護課]	
[e] 実行力のある計画	114
植野 健治 [平戸市文化観光部文化交流課]	

[ f ] 遺産と計画との間	118
平澤 毅 [奈良文化財研究所文化遺産部]	
<b>コラム</b> 学校教育と文化財—史跡首羅山遺跡（福岡県久山町）の取組—	130
江上 智恵 [久山町教育委員会教育課]	

### Ⅲ. 資料

平成25年度遺跡整備・景観合同研究集会の開催成果について（平澤毅・中島義晴）	132
1. 開催概要	134
2. 参加者・事務局名簿	135
3. 平成25年度遺跡整備・景観合同研究集会 開催状況	136
4. 記録（趣旨説明，展覧会紹介，講演・報告の要約，総合討論）	137
<b>コラム</b> 荘園遺跡と文化的景観—パネル展開催から考えたこと—	147
東原 直明 [泉佐野市教育委員会教育総務課]	
* 遺跡整備研究室・景観研究室 研究集会開催実績／報告等（2007～2014）	181

Summary Records of the Symposium / Table of Contents	184
--	-----

## 凡 例

- 1 本書は、平成26年（2014）1月24日（金）及び25日（土）に、平城宮跡資料館講堂において開催した「遺跡整備・景観合同研究集会『計画の意義と方法 ～計画は何のために策定し、どのように実施するのか？～』」（以下、「合同研究集会」という。）の成果を取りまとめた報告書である。
- 2 「合同研究集会」は、「遺跡等の保存管理・整備等に関する調査研究」及び「文化的景観及びその保護に関する調査研究」の一環として、奈良文化財研究所の文化遺産部遺跡整備研究室及び景観研究室が企画・主催し、林良彦（文化遺産部長／遺跡整備研究室長）・平澤毅（景観研究室長）・中島義晴（文化遺産部主任研究員）が担当した。参加者は、地方公共団体職員・研究者・実務者のほか、遺跡等保護の関係者など、約150名であった。
- 3 本書において、研究報告については平成26年度に執筆等を依頼したものである。なお、開催記録に該当する部分の所屬等については「研究集会」開催当時とした。
- 4 本書は、「Ⅰ. 研究報告A」、「Ⅱ. 研究報告B」、「Ⅲ. 資料」の3部構成とした。
- 5 「Ⅰ. 研究報告A」では、講演・報告者によって「研究集会」における検討成果を踏まえつつ取り纏められた論考7編とともに、「研究集会」開催時に使われたプレゼンテーション画像の一部を収録し、「Ⅱ. 研究報告B」では、「研究集会」の主題に関連する新たな論考6編を収録した。
- 6 「Ⅲ. 資料」では、「研究集会」開催の記録として、開催概要、参加者名簿のほか、「趣旨説明（1月24日）」、「講演・報告の総括（1月25日）」、「総合討論（1月25日）」の記録を掲載した。なお、討論等の記録については、録音から音声起こしたものを参照しながら、平澤毅がまとめ、各発言者の校閲を経たものである。各発言における言い回し等については、その趣旨の変更を伴わない範囲で修正を加えた部分がある。このうち、「総合討論」については、報告書の取りまとめに当たり、質問者の一部に対し、討論の記録draftを送付して、新たに示されたコメント等を付記するなどしたほか、関連する余録3編をご寄稿いただいた。また、p.144の「フジ三太郎」については、株式会社朝日新聞社から許諾を受けて掲載した（2014年6月9日付け承諾書番号14-0644）。
- 7 巻末には、英文で、「合同研究集会」の摘要及び本書の目次を付した。
- 8 「凡例」及び「開催成果について」（Ⅲ. 資料）の英訳については、株式会社コングレの協力を得た。
- 9 本書の編集は平澤毅が行った。